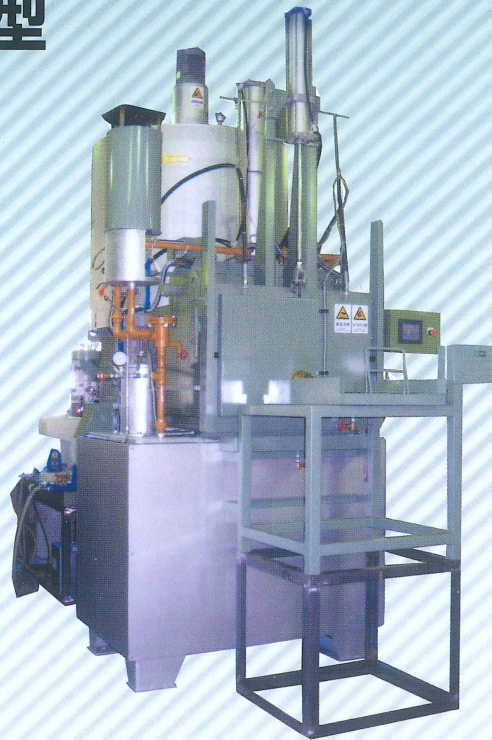
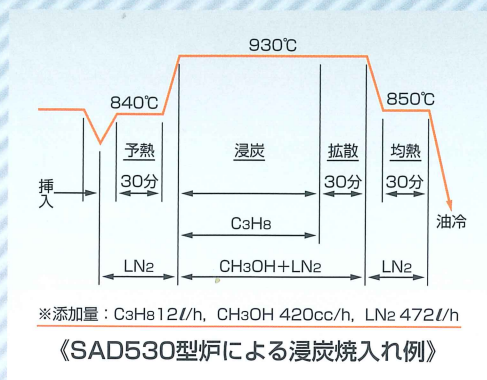


低炭素鋼(Cが0.25%以下)を浸炭雰囲気中で加熱すると表面の炭素濃度が高くなり、焼入れすると表面は硬く耐摩耗性が向上し、内部は靱性があるため衝撃に強く、耐疲労強度が増加します。小型浸炭炉SAD型は、耐熱鋼製マッフルを使用していますので、気密性が高く、繰り返し間欠運転に適した自動炉です。雰囲気の設定と立ち上がり早いので、少量生産に最適な省エネ、コンパクトタイプです。

小型ガス浸炭焼入炉 SAD型



■ 雰囲気の安定

加熱室は金属製マッフルを使用し、雰囲気ガスはレンガやファイバーに直接接触しませんので、雰囲気の安定が極めて早く確実にできます。またシーズニングガスが極小で、ランニングガスも少なく昇降温が早いので、大幅なコストの低減ができます。

■ 少量生産用

変成炉を必要とせず、稼動と停止が容易なため、多品種少量生産用に最適です。

■ SAD型浸炭焼入炉

SAD型は、メタノール(CH₃OH)を滴注液とし、N₂、C₃H₈を送入して浸炭焼入れを行ないます。また、浸炭窒化処理にはNH₃ガスを添加して行ないます。

■ 耐熱性攪拌ファン

温度分布精度の均一化、滴注液や浸炭ガスの均一拡散をはかるため、耐熱攪拌ファンを回転させています。インバーターにより回転速度の調整が可能です。

■ 自動・コンパクト

加熱室、冷却室、油槽が一体となり、浸炭→拡散→均熱→焼入まで自動的に行えます。炉前台、洗浄機、流気式焼戻炉との一連の設備レイアウトもコンパクト、安価にできます。

● O₂センサ

ジルコニア固体電解質内外の酸素濃度差に応じて起電力が発生し、この起電力から炉気中の炭素濃度を演算します。O₂センサとCP(カーボンポテンシャル)演算器の取付により、雰囲気ガスの測定と自動制御を行なうことができます。

● ジルコニア式O₂センサ



● カーボンポテンシャル(CP)演算機

センサの起電力、炉温度、CO濃度から炉気中のカーボン濃度を演算します。ガス浸炭炉やその他の雰囲気炉で使用できます。

- ・ CP値、EMF値、CO値、CO₂値の測定